

平成29年度「県民参加による水と緑の森づくり事業」

～水と緑に恵まれた県土の形成と心豊かな県民生活の実現～

当初計画額
3億5,572万円

新たな富山県森づくりプラン（H29～38年度）の概要

水と緑の森づくり税の延長と税の一部引き上げ（H28.6 議会可決）

- ・「水と緑の森づくり税」をH33年度まで5年間延長
- ・資本金等の額が10億円超の企業の税額を増額

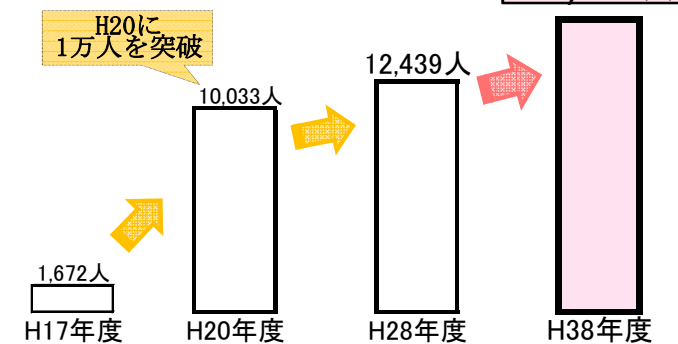
新たな目標を設定

多様な森づくりの推進

(単位：ha)

区分	前年度実績 H19-28(見込)	目標 H29-38	計画 H29
里山林 整備面積	2,628	2,000	227
混交林 整備面積	1,290	500	52
「立山 森の輝き」 植栽面積	42.2	460	20

県民参加による森づくり の年間参加延べ人数



新たな取組み

【海岸林での重点的な松くい虫被害対策】

海岸林及びその周辺区域を対象に、平成29年度～30年度の2ヶ年で一体的かつ重点的な松くい虫の被害対策を実施

【森づくりサポーターの養成】

過疎化、高齢化により困難となった里山林の維持管理を支援する「森づくりサポーター」の養成

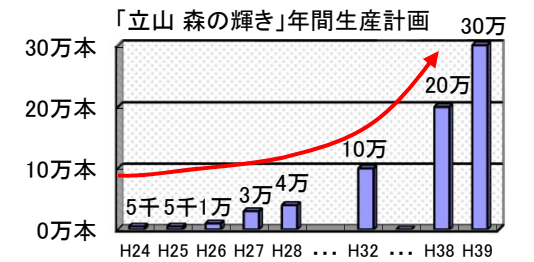
優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及

【優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽】

森林資源の循環利用と花粉症対策の一環として、本県で開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及を推進



松くい虫による被害状況



県民全体で支える森づくりの推進と、森づくりの評価・改善

水と緑の森づくり推進事業

【188万円】

- ・水と緑の森づくり会議及び森林審議会森づくり部会を開催

多様な森づくりの推進

里山再生整備事業(273ha)

【1億5,165万円】

- ④ 流木災害等の要因となる危険木の整理等
- ⑤ 海岸林での重点的な松くい虫被害対策 2,000万円
(伐倒駆除(153㎡)、予防のための薬剤散布(23ha)、樹幹注入等)



地域住民による里山林の整備

みどりの森再生事業(52ha)

【6,958万円】

- ・奥地の過密人工林や、竹林が侵入した人工林を整備し、混交林に誘導
- ・森づくり事業で使用する県産広葉樹苗を県民協働で育成



過密人工林を混交林へ誘導

実のなる木の育成事業(21ha)

【512万円】

- ・カシノナガキクイムシの被害跡地に植栽した実のなる木(5万本)の保育

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業(20ha)

【5,576万円】

- ・苗木の育成と、スギ人工林伐採跡地への植栽(4万本)、初期保育を支援



「立山 森の輝き」の生産

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」採種園整備事業

【641万円】

- ・優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の増産に必要な施設を整備
(苗木育成用ハウス1棟、作業道等園内施設整備)

とやまの森を支える人づくりなどの推進

全国植樹祭開催事業

【5億850万円(一部森づくり税)】

- ・両陛下がお手植えされた6種の記念樹を展示
- ・県産材で製作した木製品の設置等
(特別招待者席床板設置、両陛下が御使用になる御机等木製品展示、県産材ベンチ・プランターカバー設置等)
- ・大会のシンボルである「お野立所」を大会後、県民に親しまれる施設に移築



式典会場のイメージ

とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

【3,708万円】

- ・森林ボランティア活動を専門的・総合的に支援
- ・森づくり活動機器(ヘルメット、ノコギリ、チップパー機など)の貸出や保険料を支援
- ・森林ボランティアの施業技術の習得・向上等のため森づくり塾を開催(30回)



森づくり塾の開催

⑤ 里山林の維持管理を一層推進するため「森づくりサポーター」を養成

とやまの森づくり普及啓発推進事業

【680万円】

- ・森づくりへの理解を深めるため「森の寺子屋」を開催(120回)

④ フォレストリーダーを追加養成(既認定者177名⇒30名追加)

県民による森づくり提案事業

【500万円】

- ・県民が自ら企画、実践する森づくり活動を支援



森の寺子屋の開催

県産材利用促進事業

【1,835万円】

- ・県産材の利用を促進するため公共施設等の木造化や木製品の導入等を支援

④ 木育を推進するための県産材大型遊具などの設置(3施設⇒4施設)

とやまの森づくり総合情報システム事業

【450万円】

- ・「とやまの森づくりホームページ」を活用し、森づくりに関する情報を県民に提供



木育推進のための県産材遊具